



# 越前市みんなの心をつなぐ手話言語条例制定

問合せ先/社会福祉課 TEL.22-3004 FAX.22-3257

## インタビュー 手話言語条例への思い

福井県ろうあ協会 会長  
越前市聴覚障害者協会 会長 もりもと よしゆき 森本辰之さん

私は、病気のために聴覚を失い、2歳でろう学校の寄宿舎に入りました。ここでは、口の動きを読み取る口話を中心に、手話を使うことを禁止されていました。学校では、うまく発音ができなくて先生にひどく怒られるなど、つらい経験をたくさんしました。買い物やスポーツ施設の申し込みをするときなどに、うまく意思疎通ができないことがありません。特に災害時は、地域に住む人とコミュニケーションをとれる

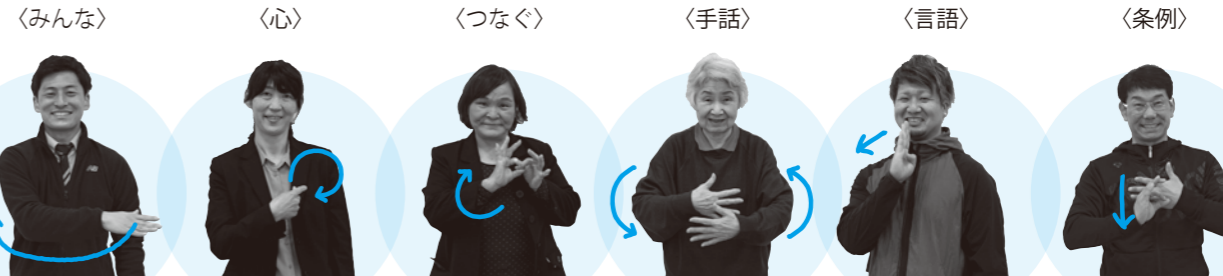


か不安です。国会では、以前から手話を言語と定める「手話言語法」の制定に動き出しています。その制定に向けて地域での盛り上がりも必要だと感じ、越前市でも手話言語条例を制定する活動を始めました。そのために、まずはろう者のみなさんと一緒に条例について勉強しました。その後、議員や市の職員の皆さんの理解もあり、やっと条例の制定へとたどり着くことができました。



議員に手話を教える森本さん

しかし、条例の制定は、あくまでスタートです。県内のろう学校では、手話が使えない先生も多く、まだまだ手話の認知度や理解度が低い状況です。これから地域や学校などで手話講座を行い、手話が言語であることを市民の皆さんに理解してもらいたいと思います。この条例の制定を機に、手話の輪を広げ、みんなの心が明るくつながっていくことを切に願っています。



## 「手話」は「言語」の一つ

多くの人は、声や耳を使う音声による言語でコミュニケーションをとっています。その一方で、聴覚に障がいのある人の中には、手や指、体の動き、表情などで意思を伝える「手話」を使う人(ろう者)がいます。「手話」は、ろう者が生きる上で大切なものであり、日本語や外国語などと同じく、言語の一つです。しかし、手話は、長い間言語として認められず、ろう者は、必要な情報を入手できないため、多くの不便や不安を感じながら生活をしてきました。その後「障害者基本法」が2011年に制定されたことにより、手話は言語であると明確に位置付けられました。が、いまだ一部の人がだけが使う特別なものとして認識されています。市では、言語である手話を広め、ろう者が安心して生活できるまちを目指すために、「越前市みんなの心をつなぐ手話言語条例」を3月19日に制定し、4月に施行しました。子どもからお年寄りまで誰もが手話で会話ができる環境を整えていきます。

条例には、市民、ろう者、事業者の役割が定められています。

※条例から抜粋

### 【市民の役割】

#### 第4条

市民は、地域社会で共に暮らす一人として、手話への理解を深め、手話でコミュニケーションを図ることにより、ろう者とう者以外の者が共に暮らしやすい地域社会の実現に寄与するよう努めます。

### 【ろう者の役割】

#### 第5条

ろう者は、手話に関する市の施策に協力するとともに、手話の意義及び基本理念に対する市民の理解の促進及び手話の普及に努めます。

### 【事業者の役割】

#### 第6条

事業者は、ろう者が利用しやすい環境に配慮し、ろう者が働きやすい環境を整備するよう努めます。

越前市も手話普及に取り組んでいます。



### ・手話教室

### ・手話出前講座

- ・手話リーフレットの配布
- ・手話通訳員などの派遣
- ・手話奉仕員養成講座
- ・修了者向け基礎復習講座

(手話通訳者養成講座を受講する予定の人のみ)



## 手話をしてみよう

まずは挨拶などの簡単な手話を覚えてみましょう。

初心者の人は、これを会話のきっかけとし、筆談などほかの方法で会話をしてみてください。  
大切なのは、相手の目を見ながら、コミュニケーションをとりたい気持ちを伝えることです。

### 越前市

- ①4本の指であごをかく。
- ②親指、人差し指、中指を立て、手を横に向ける。(指文字の「し」)



### こんにちは

- ①人差し指と中指を立て、顔の真ん中に寄せて、お辞儀する。



### お疲れ様です

- ①片方のこぶしで、手首のところをトントンと2回叩く。



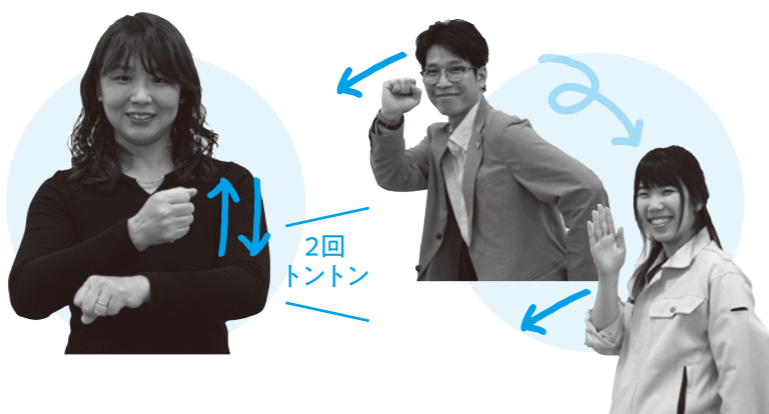
### ありがとう

- ①片方の手のひらを下に向け、もう片方の手を甲の上に垂直に置く。
- ②上に置いた手を上げる。



### よろしくお願いします

- ①鼻の前で握ったこぶしを前に出す。
- ②顔の正面から手のひらを前に出し、お辞儀する。



## 心と心をつなぐ「手話」

私たちは、さまざまな情報を入手しながら生活しています。

しかし、ろう者は、音声による情報を入手できません。

音声による情報が中心である社会では、ろう者とろう者でない人の間に情報取得による大きな壁が存在し、必然とろう者を孤立させてしまいます。

この壁を取り除くには、手話が言語であることの理解や認識を広めることが大切です。

思いやりの心をもって、互いの気持ちを理解することが、

誰もが安心して生活できる越前市につながります。

## 手話を始めてみよう

市内にある手話を学べる手話サークルを紹介します。

初心者の人でも参加しやすく、仲間と楽しみながら手話を覚えることができます。

### 手話サークル ホトトギス

開催日時：毎週木曜日 午前  
開催場所：市民プラザたけふ  
会員数：25人



こばやし てるこ  
代表 小林 照子さん



1週目に簡単な手話の勉強、2週目に新聞記事を使った手話の練習、3週目に日本語の50音を指で表現する指文字の練習、4週目に手話の読み取りと、週ごとに内容を変えて活動をしています。サークル代表の小林さんは、「ろう者は、私一人だけですが、日常生活程度の手話であればみんなとコミュニケーションがとれるので嬉しいです。」と話していました。



### パラダイス 手話の会

開催日時：金曜日 夜(毎月3回)  
開催場所：市民プラザたけふ  
会員数：51人



さわざき かずよ  
会員 澤崎 和代さん



手話の勉強だけでなく、手話ボランティアやろう者との交流など、さまざまな活動を行っています。会員の澤崎さんは、「英語を学ぶように新しい言語を学ぶ感覚があって面白いです。手話は、年齢や地域によって異なり、時代とともに変化しているので、学べば学ぶほど奥が深い世界だと思います。」と話していました。会員51人のうち44人が健聴者です。